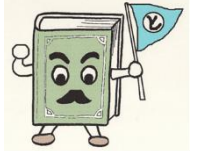


としょえもん

2015年（平成27年）

第1号



編集・発行：八王子市学校図書館サポートセンター

「いつでも、
どこでも、だれでも」
読書に親しめる環境づくり

八王子市教育委員会は、子どもたちが夢をもって未来に向かってはばたけるように、「多様で変化の激しい社会を『生き抜く力』」を育んでいくことを基本理念とした「ビジョン はちおうじの教育」を平成27年2月に策定しました。そして、「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境づくりの充実を重点項目のひとつに掲げています。



教育長メッセージ



本を読む習慣、本を通じて物事を調べる習慣を、子どもの時期から確立していくことは大切です。学校教育において、家庭や地域と連携しながら、読書の習慣付けを図る効果的な指導を展開していくにあたり、学校図書館の役割はとて重要であると考えております。

八王子市では、平成22年4月から市内全小中学校の図書館を巡回し、学校図書館の基盤整備を行ってまいりました。

また、学校図書館法の改正に伴い、本年度から学校に学校司書を配置することが努力義務となりました。本市も、学校図書館サポートターの名称を「学校司書」に改め、現在、80校の市立小・中学校に週1回、学校司書を派遣しています。

引き続き、子ども一人一人が自主的に読書に親しめるよう、読書環境の整備に努めてまいります。

教育長 坂倉 仁

願いをパワーに変えて 子どもたちの読書を支えます！

朝の読み聞かせやお話会、学校図書館の装飾や整備を通じて、子どもたちに楽しい本との出会いを創り出したいと活動しているボランティアのみなさん。子どもたちからの「今日のお話楽しかったよ」「学校図書館に行くのが楽しいな」の声や、「皆さんの活動が子どもたちを支えています。」などの、先生方からの声が届きそうです。

「学校全体で」

松が谷小学校

松が谷小学校の図書ボランティアのみなさんは、毎月1、2回学校図書館整備の活動をしています。子どもたちが本を手に取りやすいように本の汚れをきれいにしたり、古くなったラベルや背表紙を貼り換えたり、また、掲示物の作成などの活動をしています。

入口近くの廊下では松が谷小学校の学校図書館キャラクター「まつたろう君」と「まつこちゃん」が季節の装飾と一緒に子どもたちを出迎えます。キャラクター名は図書委員が校内の子どもたちに募集して、決めました。ボランティアも、季節に合った洋服に着替えさせるなど協力をして、学校全体で可愛がっています。



「大きな支えに」

第十小学校

第十小学校の図書ボランティアのみなさんは、平成十五年の発足以来、学校と連携を図りながら毎週金曜日に活動をしています。活動内容は読み聞かせ、装飾、環境整備などです。

中でも図書ボランティアによる手作りの季節の壁面装飾は、本の紹介や読書クイズ、読書の木など、楽しいアイデアと工夫で、学校図書館を訪れる子どもたちを楽しませてくれます。

他にも、読み聞かせや紙芝居、昼休みのお話会の企画など、子どもたちの読書活動の大きな支えになっています。

「大活躍!!!」

上野分方小学校

上野分方小学校の図書ボランティアのみなさんは、第2・4金曜日の午前中に活動をしています。学校図書館が低学年・高学年と分かれているため、両方の展示や本の整理・修理などをします。今年度4月から、毎月1回定例会を行うようになり、ボランティア活動が本格的になりました。定例会では、毎月の活動内容を決めています。手先の器用な方ばかりなので、季節ごとの装飾は美しく、見る子どもたちの心をつかんでいます。研修会などで学んだことを活かして、楽しく活動を行っています。



清水小学校

教科書の世界をひろげて

～三木卓のブックトーク～



清水小学校の2年生は国語の授業で三木卓の作品について学びました。そこで、学校図書館にある本にプラスして市立図書館からも三木卓の本を借り、ブックトークで紹介しました。様々な作品との出会いによって、子どもたちの「読みたい！」が刺激されたようです。

もっともっと「読みたい」という気持ちを膨らませたいと思います。

学校図書館の取り組み

学校図書館は「読みたい」「知りたい」に応えます！

平成27年度は20名の学校司書が子どもたちの読書活動や調べ学習を支援しています。学校での取り組みをご紹介します。

由木西小学校

学校図書館で知る沖縄

～エイサーをきわめるために～

由木西小学校の3・4年生が運動会で表現するのは沖縄の「エイサー」。学校図書館ではそれに合わせて『沖縄特集』を組みました。

授業では沖縄民話の読み聞かせや関連図書の紹介をしました。また、展示コーナーには沖縄を知るための本や図工の先生自作の素敵なエイサー太鼓を並べました。沖縄料理やゴーヤの本も人気があったようです。

折しも5月15日は沖縄本土復帰記念日。子どもたちは、普段あまり手に取らない本から「沖縄」を知る日になりました。



中野北小学校

オリエンテーションを実施



中野北小学校では全学級に、図書館オリエンテーションを実施しました。子どもたちは学校図書室での過ごし方、図書館クイズ、背ラベルの見方や日本十進分類法に基づいた書架の配置などを学びました。子どもたちは、今までなにげなく見ていた本の請求番号の数字一つ一つに意味があることが分かり、本にますます興味を持つことができたようです。

学校図書館の窓から 楽しい本 いろいろ

図書の表紙画像の掲載については出版社の許諾を得ています。

市内の小・中学校で働く学校司書が紹介します。

『ノエル先生と しあわせのクーポン』

シュジー・モルゲンステルン作
宮坂宏美／佐藤美奈子訳
講談社

「宿題をしない券」「授業をサボる券」ワクワクするクーポン券を、太っちょノエル先生は5年生に配ります。怒った校長先生が取った態度とは？

「人生を楽しむ」ことを学んだ5年生が最後に素敵なクーポンをノエル先生に渡します。



『ふたりのロッテ』

エーリヒ・ケストナー作
高橋健二訳
ワルター・トリヤー絵
岩波書店

ルイーゼとロッテは、そっくりのふたごです。夏休みに両親のひみつを知った二人は、おたがいのふりをして家に帰ります。いくら外見が似ていても、性格や趣味はちがうふたり、だれにも気づかれずに済むのでしょうか。



『生きもの つかまえたら どうする？』

秋山幸也文
松橋利光写真／こぼようこ絵
偕成社

近所で見つけられる生きもののつかまえ方、意外にむずかしい連れて帰り方や、飼い方が一目でわかります。そして、飼えないものは飼えないと、きちんと書いてある所が大人にはありがたい一冊です。



学校図書館ボランティア研修

集団の子どもたちへの 読み聞かせ

6月3日(水)午前10時より、八王子市教育センターにて平成27年度第一回の学校図書館ボランティア研修会を開催しました。雨の中にもかかわらず、140名ものボランティアの皆さんにご参加いただきました。

講師は、東京都立多摩図書館児童青少年資料課の尾崎さんと浅沼さん。同図書館作成の『読み聞かせABC』を元に、初めて読み聞かせをする方から経験豊富な方まで、幅広い対象の参加者の疑問に答える内容となりました。

「実際に読んでいただいていた読み聞かせの楽しさを実感できた」「不安に思っていたことが解消された」など、ボランティアの皆さんの明日からのエネルギーとなる研修会になりました。

『読み聞かせABC』は、都内の小学校へ配布されています。都立図書館のホームページからもダウンロードできます。

次回予告

平成27年11月18日(水)
午前の部：10時～12時
午後の部：14時～16時
会場：教育センター
内容：実技演習。詳細は追って学校からお知らせします。

発行日：2015(平成27)年7月1日

問い合わせ先：学校図書館サポートセンター

電話 042-664-1135

ファックス 042-662-2988

八王子市教育センター(八王子市散田町2-37-1)内